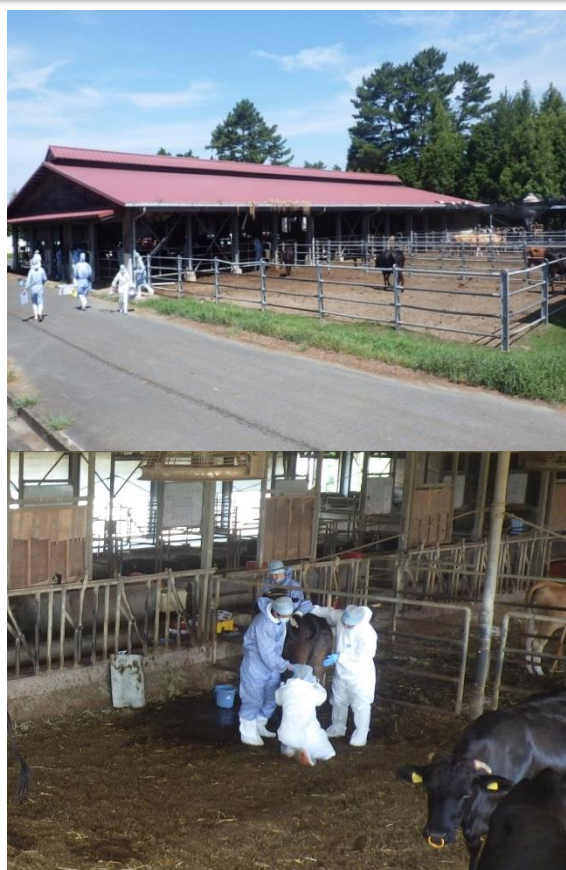


〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
ホームページアドレス <http://www.pref.kumamo.jp/site/amakusa-1219>
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



平成30年度FMD(口蹄疫)防疫演習が開催されました



写真撮影演習の様子

8月9日に熊本県農業大学校において、平成30年度FMD(口蹄疫)防疫演習が開催されました。実際に口蹄疫の発生を想定し、農業大学校の牛を使い、演習を行いました。その後、検査のための採材等の研修会を行いました。演習概要は以下の通りです。

実地演習

- ・発生農場の農家さんへの聞き取り調査
- ・発生農場全体の見取り図作成
- ・発生農場および発症牛の病変部位やその他部位毎の写真撮影

研修会

- ・FMDの症状について
- ・検査のための採材方法と注意点

依然として中国等の近隣国で口蹄疫の発生が認められています。人や車両の消毒を徹底し、口蹄疫の発生を防止しましょう。

万が一発生の際には関係各機関が連携して迅速な防疫対応を行うとともに、まん延を防止する必要がありますので、関係各機関の皆様におかれましては今後とも御協力お願いいたします。

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」



日本脳炎注意報の発令について

熊本県では、日本脳炎の流行を予測するため、毎年7月から9月にかけて、豚（県内産肥育豚）血清中の日本脳炎抗体検査を行っています。

8月13日に県保健環境科学研究所で検査した結果、日本脳炎に注意が必要な基準に達しましたので、**日本脳炎注意報**が発令されました。

日本脳炎とは

- ・蚊（コガタアカイエカ）が媒介するウイルスで、日本では夏から秋に発生が見られる人獣共通感染症としても、重要な感染症です。
- ・ウイルスを保有した蚊が、免疫のない豚を吸血する際に感染し、ウイルス血症を起こす。このウイルス血症時の豚を吸血した蚊が感染し、ウイルスを媒介するようになることで、ヒトへの感染につながる。
- ・豚では、母豚は感染しても妊娠中は無症状だが、異常産が発生する。
- ・異常産は胎子ごとに感染時期が異なるため、ミイラ・黒子・白子などの死産胎子を娩出するほか、娩出直後から震え、痙攣、旋回などの神経症状を示して死亡する子豚が混在する。
- ・種雄豚が感染すると交尾欲が減退し、精液性状が異状となる。

豚はヒトへの感染にも大きく関わります。
ワクチン接種の徹底をよろしくお願いします。

熊本県防災情報メールサービスについて

熊本県では、土砂災害や洪水などの災害のみならず、家畜伝染病発生情報をも県民の皆さまの携帯電話やパソコンに配信する”**熊本県防災情報メールサービス**”を実施しています。近頃、中国や韓国等の近隣諸国で口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の発生が確認されており、さらに、中国ではアフリカ豚コレラの6例目（平成30年9月4日現在）の発生が確認され、国内への侵入が危惧されています。

このメールサービスにより、県民の皆さまが必要な防災情報や近隣諸国での海外悪性伝染病の発生状況などを受信できるようになり、避難判断の情報や農場の衛生管理の見直しなどに有効でありますので、是非多くの皆さまの御登録をお願いします。

熊本県防災情報メールサービス（家畜伝染病発生情報）の登録方法
メールの宛先に下アドレスを入力し、空メールを送信する。

「entry@anshin.pref.kumamoto.jp」

又は2次元バーコードを読み取り、空メールを送信する。

※「bousaimail@anshin.pref.kumamoto.jp」からのメールを受信できるように設定して下さい。



平成30年度鶏病研究会熊本県支部鶏病技術研修会が開催されました



研修会の様子

8月31日に平成30年度熊本県支部鶏病技術研修会が開催され、6題の話題提供と特別講演がありました。当所からは松本技師が「管内の肉用鶏農家における血中ビタミン濃度と生産性の関係について」を発表し、特別講演では(一財)自然環境研究センターの米田先生による、「野鳥における鳥インフルエンザの感染状況」について講演がありました。

特記事項

- 鳥インフルエンザウイルスは進化し続けており、様々な型のウイルスが検出されている。
- 野鳥のサーベイランスを行ったところ、様々な鳥種で複数系統の鳥インフルエンザウイルスが検出された。
- 鶏舎内に防鳥ネットをしていても2～3cmの隙間からスズメやムクドリへの侵入が確認されているため、防鳥ネットの修繕や見直しが必要。

• 高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間開始まで残り2ヶ月弱となりました。事前に以下の予防対策を再度確認され、鳥インフルエンザの発生を防止しましょう。

①人・物・車両によるウイルスの持ち込みの防止

農場及び畜舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底、専用長靴の使用

②野生動物対策

防鳥ネットの設置・修繕、ネズミの駆除、壁の破損や隙間の修繕

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

| 病名 | 型 | 発生地(国) | 畜種 | 発生日月 |
|------------------|------|----------|--------------|----------------------|
| 高病原性 鳥インフルエンザ | H5 | 台湾(7件) | 採卵鶏、肉養鶏、あひる | 平成30年1月12日 ～6月26日 |
| | H5N2 | | 採卵鶏、肉用あひる、地鶏 | 平成30年7月18日 ～8月13日 |
| | H5 | ロシア(13件) | 家禽 | 平成30年7月19日 ～8月5日 |
| | H5N2 | | | 平成30年8月9日 |
| 口蹄疫 | O型 | 中国(3件) | 豚、牛 | 平成30年8月8日 ～8月18日 |
| アフリカ豚コレラ | | 中国(4件) | 豚 | 平成30年8月1日 ～8月17日 |

平成30年9月1日時点

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668